

# CSR REPORT 2010

キーウェアソリューションズ株式会社 CSR報告書



IT can create it.



**KEYWARE**  
SOLUTIONS

# 暮らしの中のキーウェア

安心 + 安全 便利

私たちは、情報システム・サービスを通じて豊かで便利な社会の発展を支えています。



私たちの身近なところで、キーウェアは活躍しているんだね。

## 駅の改札で

### たとえば駅改札におけるICカード利用

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務などのノウハウを有しています。

## 街中で

### 野球・ゴルフ・大相撲などのスポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。

## 固定電話で、携帯電話で

### 一般電話（NTT）、携帯電話の通話情報、パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通話料金を計算して各センタに設置されている料金明細センタへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

## 電話帳で

### 大規模顧客データベース、顧客管理、広告販売、コールセンター業務

電話帳掲載情報の核となるお客様情報システム、広告・販売支援システムなど、中核業務に関するシステムを開発しています。

## 高速道路で

### 交通情報ソリューション

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。

## 宇宙で

### 衛星追跡管制・衛星関連データ処理 宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

## ホームで

### 駅のホーム用車両接近状況表示、 行先案内表示、緊急案内表示

鉄道駅のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。

## 空港で

### 航空路管制システム 安全で安心できる空の旅を

通信入出力DUAL(二重構造)制御やスポット管理全般の特殊なノウハウを駆使して構築するシステムを開発しています。

## オフィスで

### 経営コンサルティング、IT実行環境の最適化

経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運用までをシームレスかつ全面的に支援しています。

### 情報セキュリティ

ハイブリッド・シンクライアントは、独自の高速プロトコルによりネットワーク負荷が低く、既存PCをそのまま活用でき、初期導入コストを劇的に低減することが可能。情報漏えい対策にも効果を発揮します。

### ERPトータルサービス運用、 ビジネス・プロセス改善

導入コンサルティングから構築、運用にいたるまで、豊富な実績に裏付けられた付加価値の高いソリューションを提供しています。

## 銀行で

### 金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。

## 病院で

### オーダーリングシステム、電子カルテ、 臨床検査システム、院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。

## 工場で

### ERPソリューション

生産管理を中心に人事管理、財務会計、購買管理といった各パッケージならびに広範囲の各機能を統合したテンプレートを基に基幹システムの導入を支援しています。

# 夢や理想を実現し、豊かな社会の発展に貢献する企業を目指して



代表取締役社長 中島 哲二

キーウェアソリューションズは、旧社名「日本電子開発株式会社」として、1965年という日本における情報社会の黎明期に「コンピュータの総合コンサルタント」を目指して発足し、常に情報化の最前線でシステム開発に取り組んできました。

そして、社会インフラ系のシステム開発を中心として多くの実績を挙げ、21世紀からは、お客様のIT(情報技術)の問題をより適切に解決するとの誓いをこめて、社名を「キーウェアソリューションズ株式会社」と改め、デファクトスタンダード技術の研鑽に努めてまいりました。

社名変更時に定めたキーウェアグループの経営理念では、「社会的役割」を次のように定義づけています。「創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。」

この考えこそが、キーウェアグループのCSRの基本であると私は考えております。同時に、CSRとは、健全な企業活動そのものであり、責任感をもって職務を遂行することがそもそもの基本であると考えています。

## CSRの考え方

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションをはかりながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



**キーウェアソリューションズが関わる情報システムは、最新の情報通信技術（ICT）によって、実に多くの人々の生活を支える社会インフラとなっています。**

たとえば、運輸事業分野における物品運送・旅客搬送の効率化やICカード利用によるペーパーレス化、エネルギー事業におけるネットワーク監視の精度向上による安定性・安全性の確保、通信事業における基地局の制御による移動体通信のシームレス化、医療分野における情報の多角的な管理による人々の健康維持の実現、ERPシステムを使った基幹システム構築による企業の健全かつグローバルな経営の実現など、様々な分野で実績を残してきました。私たちの作り出す情報システムが間違いなく稼動することこそ、安定した社会生活の一助となるのだという事実が私たちの誇りでもあります。

**真の意味でCSRを実現しようとするのであれば、私は、自らの仕事に「誇り」を持ち、「責任感」を持って行動することが重要であると考えます。**

具体的な活動として、健全な企業経営や適切な情報の開示などの企業活動だけでなく、環境活動やボランティア活動、文化支援活動、地域社会への貢献などが必要であることは、あたりまえのことですが、それらも全て「CSR活動をする」という考えから行うのではなく、日々の生活の中で当然なすべきこととして捉えています。

私たちは、これまでの45年間、お客様、株主・投資家の皆様、社員とその家族の皆さん、地域社会の方々、協力会社の方々や調達先の方々など、実に多くのステークホルダーの皆様に支えられてきました。

それらの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、これからも「責任感」と「誇り」を失うことなく地道に努力する所存です。

## キーウェアソリューションズの経営理念

事業領域	情報技術に関する全てを事業領域とします。
企業風土	個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
社会的役割	創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
企業スローガン	<b><u>IT can create it.</u></b> クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

# マネジメント 編

キーウェアソリューションズは、経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営体制の強化に取り組んでいます。

## コーポレート・ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

キーウェアソリューションズでは、コーポレート・ガバナンスを、顧客、株主、従業員、取引先、地域社会等の様々な利害関係者と企業経営の基本的関係の構築と理解しています。これを踏まえ、当社は、「あらゆる企業活動において、当社のもつ社会的責任を深く自覚し、関係法令の遵守を徹底し、社会倫理に適合した行動を取ることが健全な発展のために不可欠である。」との基本的認識のもと、企業価値の増大に努め、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に取り組んでいます。

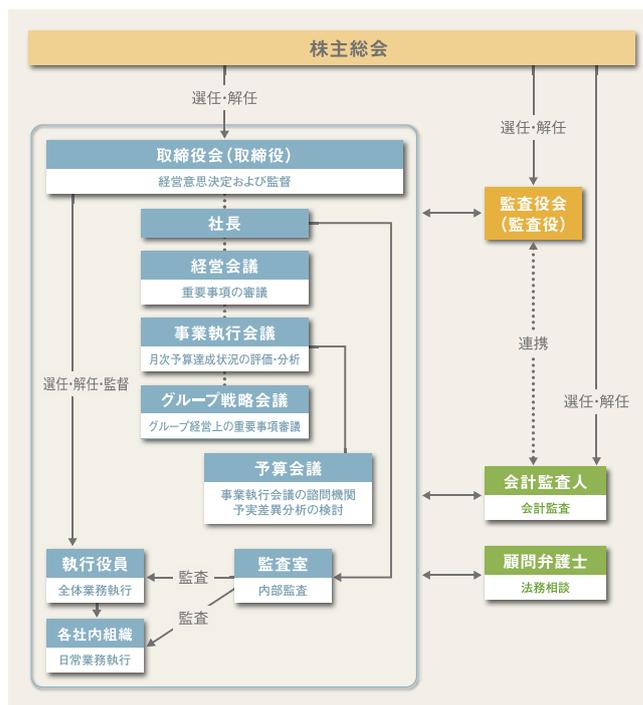
### コーポレート・ガバナンス体制の概要

**【取締役会】** 取締役会は、取締役7名(うち社外取締役1名)で構成されます。経営の基本的な方針と戦略の決定および業務執行の監督機関と位置づけています。

**【執行役員制度】** 業務執行に専念する責任者として執行役員を配置し(8名)、業務執行の迅速化をはかっています。

**【監査役会】** 監査役会は監査役4名(うち社外監査役2名)で構成されます。取締役会をはじめとする重要な会議への出席や業務および財産などの状況調査を行うことにより、取締役の職務執行を監視・監査しています。

### コーポレート・ガバナンス体制(概略)



## コンプライアンス

### 基本的な考え方と推進体制

キーウェアソリューションズでは、法令および定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進しています。

また、役職員が、健全な社会規範の下にその職務を遂行するため、経営管理室においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同室を中心に教育等を実施しています。

### 内部通報制度

法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を事前に予防するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

### コンプライアンス啓発・教育の実施

社員のコンプライアンス意識向上をはかるため、全社員を対象として階層別研修やeラーニングによる教育を実施しています。

また、「社員行動規範カード」を全社員に配布し、日々の意識啓発を行っています。



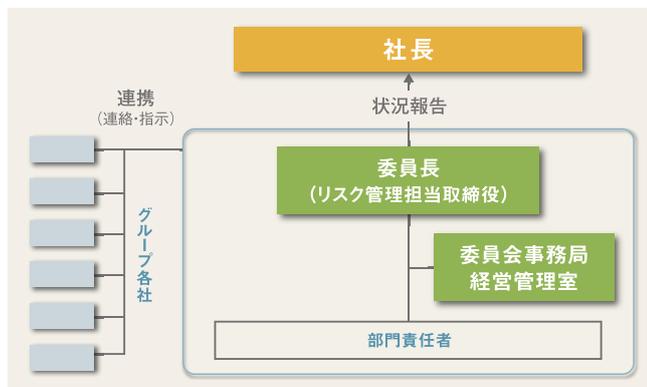


## リスクマネジメント

### 基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病および会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより業務運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づきリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。

#### リスク管理委員会体制図



### 大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロおよび社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアグループが被害を被った場合または被るおそれのある場合、社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方針として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品の整備、防災訓練などを実施しています。



### 災害時における社員の安否確認体制

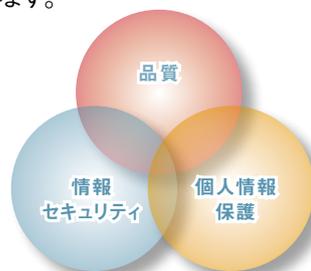
災害発生時にメールや電話を通じて、社員の安否確認を行う「安否確認システム」を導入し、社員やパートナー社員、およびその家族の安否を迅速に把握できる体制を整えています。また、災害を想定し、安否確認訓練を実施しています。

## 品質・情報セキュリティ

### 品質・情報セキュリティ・個人情報保護に関する考え方

キーウェアグループでは、2005年度から、品質マネジメントシステム(QMS)、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)、および個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を統合したマネジメントシステム「iSMASH」の運用を行っています。

※iSMASH: integrated Synthetic Management System of Quality Assurance for a Software House



#### 【品質】

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証をグループ全社で取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム(QMS)の運用だけに留まらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム(QMS)をブラッシュアップしていく活動を進めています。

#### 【情報セキュリティ】

キーウェアグループでは、情報の適切な取り扱いを行うため、「情報セキュリティ遵守事項」を制定し、全社員および当社業務にかかわるパートナー社員に対して情報セキュリティ教育を継続的に実施しています。また、ISMS認証を取得し、機密情報管理の徹底を行っています。



#### 【個人情報保護】

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分な配慮を行い、個人情報保護に努めています。また、キーウェアグループの(キーウェア九州を除く)各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。



品質マネジメントシステム  
登録業者  
JISQ9001:2008



情報セキュリティ  
マネジメントシステム登録業者  
JISQ27001:2006



プライバシーマーク  
使用許諾事業  
JISQ15001:2006準拠

# 環境編

昨今の国際レベルでの環境問題や、国内の環境政策の動きに呼応して、キーウェアグループにおいても企業の社会的責任の一端として環境問題を認識し、グループの全社員が各々の諸活動に際し、環境マネジメントシステムのPDCAに関わり、継続的に環境問題や環境維持・改善に努めます。また、環境省が提唱しているチャレンジ25に参加し、温室効果ガス削減に積極的に取り組んでいます。

## 環境方針

キーウェアグループでは、ソフトウェア製品と関連のサービスを提供していることを踏まえ、以下の環境基本方針を宣言する。

### 1. 環境に配慮した事業展開、 機器などの購入や販売

製品の開発や提供に際して、省資源・省エネルギー、環境に配慮した製品やサービスの提供、環境保全に適合した機器などの購入や販売を行う。

### 2. 法令の遵守

環境関連の法律、規則や必要とする要求事項を遵守し、環境保全に努める。

### 3. 継続的活動と環境意識の向上

環境マネジメントシステムの運用により継続的改善に努める。また全従業員への意識向上のため環境教育や啓蒙に配慮する。

### 4. 社会貢献

3R(リユース、リデュース、リサイクル)の徹底化により、個人も含めて社会や地域への貢献に努める。

改定日:2009年4月1日 / 制定日:2005年5月19日

キーウェアソリューションズ株式会社 代表取締役社長 中島 哲二

## 2010年度 環境目標

環境目的		環境目標		
		目標	目標値	
1	製品・サービスへの環境配慮	1	プロジェクトにおける納期管理の推進 すなわち業務効率を高めて、無駄な紙・ゴミ・電力の削減につなげる	・納期遅延件数を前年度より削減 (iSMASH状況管理表の納期欄で注意/ 問題と特定されたプロジェクトを合計した件数)
2	環境意識向上への啓蒙・教育	1	各部門におけるエコ活動の検討と推進	・上期 業務特性を考慮したエコ活動の検討 ・下期 エコ活動の推進
3	オフィスへの環境配慮  3R活動の推進 ●リユース(再利用) ●リデュース(利用抑制) ●リサイクル(再生利用)	1	印刷用紙の消費量削減	・一人当たりの印刷用紙消費量を前年度より3%削減
		2	廃棄物の削減、リサイクルの推進	・廃棄物を前年度より3%削減 ・「保護(まもる)くん」等を活用し、リサイクル率を前年度より3%向上
			3	電力使用量の削減

※その他、各種環境運用項目を実施(製品アセスメント、グリーン調達など)

### 環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、遵守状況を確認。その結果を経営者に報告することで、順法性評価のPDCAを確実に展開しています。

また、環境省が提唱しているチャレンジ25に参加し、温室効果ガスの削減に積極的に取り組んでいます。

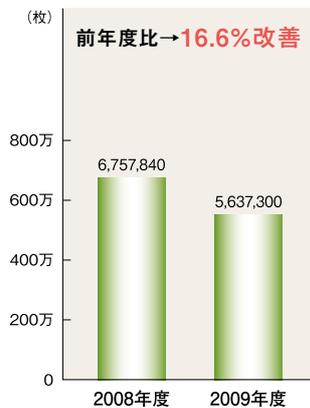


## 環境パフォーマンスの主な実績

### 電力使用量



### 紙使用量



### 製品・サービスアセスメント

対象プロジェクトの件数 (2009年度)

	目標値(計画)	対象(実績)
新規	57	73

製品・サービスアセスメントとは、キーウェアグループが提供する製品(ソフトウェア/サービス)に対して、当該製品の設計・製造・流通・使用・廃棄・再資源化・処理処分各段階における安全や資源・環境への影響を調査、予測し、環境影響の軽減化をはかることを目的とした環境アセスメントの実施方法です。

## 特筆すべき活動

### 1 環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わる全ての関係者に教育を実施しています。

- 全社員に対しWBT(Web Based Training)による環境教育を実施。
- ソフトウェア開発の協力会社に対し、集合教育を通じて、環境活動の周知、依頼事項の教育を実施。
- その他協力会社(廃棄物業者・清掃業者等)に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。
- 中途採用者およびプロジェクトへの新規参加協力会社社員に対する教育を随時実施。  
なお、オフショアスタッフ向けの中国語版の教育資料も用意。

### 2 保護(まもる)くんを活用したリサイクル活動

前年度比→17%改善

	2008年度	2009年度
年間排出量	16,175kg	21,690kg
森林伐採抑制量	284本	309本
CO <sub>2</sub> 排出抑制量	7,620kg	8,923kg

保護くん利用箇所:新宿本社、八幡山事業所

保護(まもる)くんとは、株式会社日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献。温暖化ガス抑制にも寄与しています。

### 3 エコキャップ運動

キーウェアソリューションズは、社員一人ひとりの環境意識の向上や社会貢献のために、「エコキャップ運動」に参加しています。  
※詳しくは、「社会編(P9)」をご覧ください。

### 4 木植えあプロジェクト

地域緑化に貢献するとともに、次代を担う子どもたちに環境問題を考えてもらおうというボランティア活動「木植えあプロジェクト」を行っています。  
※詳しくは、「社会編(P9)」をご覧ください。



## 認証・表彰・外部評価

- 1 ISO14001 認証 2005年よりISO14001の認証を取得
- 2 せたがやエコライフ推進事業所 2009年度 世田谷区環境表彰受賞
- 3 日本経済新聞社 環境経営度調査 2009年度 環境経営度調査 通信・サービス部門 17位/ソフトウェア会社 5位

# 社会編

キーウェアグループは、経営理念として掲げている「社会的役割」の考え方にに基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、共に成長・発展していくための取り組みを行っています。

## お客様とともに

### お客様満足度向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

### お客様アンケートを実施

キーウェアグループでは、定期的に主要顧客に対してお客様アンケートを実施。アンケート結果を評価・分析することで、日頃の業務を見直し、さらにお客様にご満足いただけるよう、継続的改善をはかっています。

### CS向上大会を開催

毎年1回、各部門の社員が参加し、CS向上大会を開催しています。お客様満足度向上のため、品質向上、サービス提案力向上等、さまざまな施策について発表を行っています。



CS向上大会

## 地域社会とともに

キーウェアソリューションズでは、地域社会に密着した活動を積極的に推進することにより、地域社会の皆様とともに発展する企業を目指してまいります。その取り組みとして環境保護活動、資源活用活動、地域貢献活動等に自主的に取り組んでいます。主な活動をご紹介します。

### 木植えあプロジェクト

キーウェアソリューションズの事業所がある世田谷区の小学校を中心として、木や花を植えるお手伝いをし、地域緑化に貢献するとともに、次代を担う子どもたちに環境問題を考えてもらおうというボランティア活動「木植えあプロジェクト」を行っています。



を届ける運動です。当活動に対し、2009年3月、NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」より感謝状をいただきました。

### 「せたがやエコライフ推進事業所」宣言

世田谷区では、区内の個人から企業までを対象に「せたがやエコライフ推進事業所」の宣言を求めており、一定の基準を満たした場合に確認証(ステッカー)を発行しています。キーウェアグループも区内に事業所を構える企業として、この「せたがやエコライフ推進事業所宣言」をはじめ、「世田谷みどりのトラスト基金」への協力をを行っています。

2009年9月、キーウェアグループ八幡山事業所はそれらの活動実績が認められ、環境保護・啓発部門での「平成21年度 世田谷区環境表彰」を受賞しました。



### エコキャップ運動

キーウェアソリューションズでは、社員一人ひとりの環境意識の向上や社会貢献のために、「エコキャップ運動」に参加しています。「エコキャップ運動」とはペットボトルのキャップを集め、リサイクルメーカーへ売却し、その売却益をワクチン寄贈団体に寄付することで、途上国の子どもたちにポリオワクチ





## 株主・投資家の皆様とともに

### 基本的な考え方

キーウェアソリューションズは、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題のひとつとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアソリューションズに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内へフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めてまいります。

### 情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適時・正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」で定める情報およびそれに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアソリューションズを理解していただくために有効な情報につきましても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

### 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて、決算情報、財務データをはじめ、キーウェアソリューションズの強みや特徴などを日本語と英語で掲載しています。また、投資家向け決算説明会の様子や社長による決算説明を動画配信し、IRサイトの充実をはかっています。



株主通信  
「KEYWARE TIMES」

2008年度には、決算短信、株主向け書類やホームページなどにおいてディスクロージャーに積極的に取り組んでいると認められる東証上場会社表彰の「ディスクロージャー新人賞」を受賞いたしました。



投資家向け決算説明会

## 社員とともに

### 人材育成への取り組み

キーウェアグループでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。また、社員の技術スキルレベルの向上をはかり、より専門性を高めることを、経営戦略の重要テーマとしています。

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの適性・志向に合ったキャリアアップを支援するため、ITSSツールを用いてスキルアップ計画を策定し、PDCAサイクルに沿った組織的・計画的な研修・OJT(先輩・上司による現場教育)による指導育成を実施しています。全ての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキル向上および自己啓発支援の一環として、資格取得を推進し、会社が必要と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては一時金として資格取得奨励金を支給しています。

### 次世代育成支援の取り組み

社員の仕事と子育ての両立を推進するために、諸制度(育児休業制度、育児時短制度、子の看護休暇、フレックスタイム制度)の整備とともに、制度を利用しやすい職場環境づくりを目指しています。

### 健康管理とメンタルヘルスケア

社員が、健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実を進めています。健康管理においては、定期健康診断の実施のほか、産業医と保健師を配置し、健康相談が可能な環境を整備しています。また、社員と同居のご家族の悩みや不安等のストレスに対応するため、「カウンセリング(相談サービス)社外窓口」を開設しています。

### 社内コミュニケーション・福利厚生制度

社内情報の共有化を目的として、社内報誌「Itit(イットイット)」を発刊し、トップマネジメント方針などの重要情報をはじめ、社内のさまざまな活動やトピックスを社内に伝達しています。また、社内交流やリフレッシュをはかることを目的として、サークル活動の支援や福利厚生施設利用のサービス、社員の万が一のけがや病気に備えて「GLTD:団体長期障害所得補償保険」の導入など、福利厚生制度の充実をはかっています。



社内報誌「Itit(イットイット)」

## 会社概要 (2010年3月31日現在)

---

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社	従業員数	1,334名(連結)
創立	1965年5月	上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
資本金	17億37百万円		

---

### 編集方針

「キーウェアソリューションズ株式会社 CSR報告書2010」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様にも、適切にわかりやすくご報告することを目的として今回初めて「CSR報告書」という形でご報告させていただきました。

キーウェアグループは、今後とも企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくために、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

### ホームページ

キーウェアグループの社会・環境活動(CSR)につきましては、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>

### 報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています(キーウェアソリューションズ株式会社にのみ限定される事象の報告については、本文中に明記しています)。

### 報告対象期間

2009年度(2009年4月1日～2010年3月31日)

※一部に2009年度以前の活動も含まれます。

### 発行年月

2010年8月

### 表紙デザインについて

キーウェアグループの事業内容そのものがCSR活動につながっていることを表現するために、事業に関連したアイコンを掲載しました。また、環境へ配慮した上で、豊かな社会の実現を目指す企業姿勢も表しています。



キーウェアソリューションズ株式会社

〒160-8422 東京都新宿区新宿三丁目1-13 (京王新宿追分ビル8F) 経営企画室  
TEL 03-5369-1118 FAX 03-5369-1119

<http://www.keyware.co.jp>